

Y17a 国立天文台野辺山における来場者の分析とアニメ作品による誘致効果の検討

星見まどか, 西村淳, 山田麟 (国立天文台)

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、平時に自由見学を受け付けているほか、毎年8月に現地での特別公開を実施してきた。また2025年4月に公開された国民的アニメ映画において野辺山が主要な舞台として描かれたことを受け、2025年は例年と比較して多くの来場者が観測所を訪れる状況となっている。

来場者については、人数および大人/子ども別の傾向に加え、どこから来場したかを長野県の市区町村および都道府県単位でアンケート調査している。本研究では、これらのデータを用いて来場者数と移動距離の関係を分析し、「近さ」が科学施設来訪に与える影響を定量的に検討する。特に都道府県別に人口あたりの来場者数と観測所からの距離の関係を調べたところ、距離が離れるほど人口あたりの来場者数が低下する傾向が確認された。さらに両対数グラフにプロットして比較した結果、データは概ね直線的な関係を示し、距離が増すほど来場者割合が減少する傾向がより明瞭に捉えられた。

また、2024年以前のデータとの比較を通し、アニメ作品を含むメディアミックス施策が科学教育施設の来場促進に与える効果についても議論する。

本分析により、科学教育拠点の地域分布やアクセス性が来場動機にどう寄与するかを明らかにすることで、全国各地における科学館・天文台の存在意義や配置計画の検討に資する知見を示すことを目指す。